

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：

「慢性肝疾患の肝細胞癌発生におけるオートファジー（自食作用）の役割に関する研究」

1. 研究の対象

2008 年 1 月 1 日から 2018 年 4 月 30 日まで、当院で肝臓癌（非アルコール性脂肪性肝疾患からの発癌、慢性 C 型肝炎からの発癌、大腸癌の肝転移）の手術治療を受けた患者さんが対象となります。

2. 研究期間

研究実施許可日（変更申請後は初回承認日記載）～2026 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2019 年 4 月 1 日

提供開始(予定)日：2019 年 5 月 1 日

4. 研究目的

近年、肥満の関連する肝疾患が増加し、まれですがその中から肝臓癌が発生することがあります。しかし、どのような患者さんに肝臓癌の発生が多いのか、どのように肝臓癌が発生するのかなど詳しいことはまだ分かっておりません。当院では、筑波大学と協力し東京女子医科大学病院の手術で得られた患者さんの肝臓癌および肝臓検体を更に詳しく調べ、既に得られた医療情報とあわせて分析し、肝臓癌の予防・治療に役立てることを目的にこの研究を行います。

5. 研究方法

この研究で集めた患者さん手術標本を用いて免疫染色を行って、患者さんの病歴や予後を比較して分析します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

既にえられた手術検体、採血・画像・病理学検査データと診療記録（病歴、性別、年齢、身長、体重、手術後の経過）を利用します。

情報：病歴、採血の結果、診療記録、病理学検査データなど

試料：肝組織

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、記録媒体、病理標本スライドにより共同研究機関である筑波大学へ運搬して使用します。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

東京女子医科大学 消化器外科准教授 有泉俊一

【共同研究機関】

筑波大学医学医療系 研究責任者：消化器内科 准教授 岡田浩介

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は科学研究費補助金（科研費）です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたいうで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東京女子医科大学病院：〒162-8666 住所 東京都新宿区河田町 8-1

所属・担当者名：消化器外科 担当：有泉俊一

電話 03-3353-8111（代表）対応可能時間：平日 9～17 時

研究代表者：筑波大学医学医療系消化器内科 岡田浩介